



タイルの剥落を防ぐ補修改修工法

高級感があり、耐久性・耐候性に優れたタイル外壁は建築物の多くで採用されている。その一方で、浮きや剥落といった工法的な課題から定期的な診断と補修改修が必要となっている。SDGsが社会的な課題となっているなか、既存建築物を如何にして健全な状態を維持し、少しでも長く使っていくためには何が必要なのか。

本稿では、タイルの剥落を防ぐ補修改修工法をテーマに、SDGsの観点からタイル剥落防止工法の重要性と将来の展望について工学院大学の田村雅紀教授に話を伺うほか、各社の推奨製品を紹介し、今後を探っていく。（編集部）

インタビュー

建築ストックを残すため、機能のバリューアップも必要 …… 8
工学院大学 建築学部建築学科 田村 雅紀 教授に聞く

製品・工法レポート

タイル外壁の風合いを活かす透明樹脂系外壁複合改修工法 …… 13
コニシ株式会社 浦和研究所 飯塚 啓太

**再改修システムで健全な外壁を引き継ぐ
繊維入り透明塗膜によるタイル剥落防止工法 …… 16**
日本樹脂施工協同組合

**工事中の臭気問題を解消させた
特殊ウレタン透明塗膜による外壁タイル剥落防止工法 …… 18**
日本樹脂施工協同組合

**美観を損なうことなく
外壁タイルの浮き個所を確実に施工する部分補修工法 …… 21**
タイルフィックス工業会 会長 中坂 勇二 / 技術委員会委員長 岩井 宗一

■タイルの剥離・剥落を防ぐ注目の補修改修工法

「ボンドソルバインド工法」	コニシ株式会社 ……	24
「JKセライダー工法」	日本樹脂施工協同組合 ……	24
「JKクリアファイバーW工法」	日本樹脂施工協同組合 ……	24
「タイルフィックス」	株式会社 Toho ……	25

